

経営比較分析表（令和5年度決算）

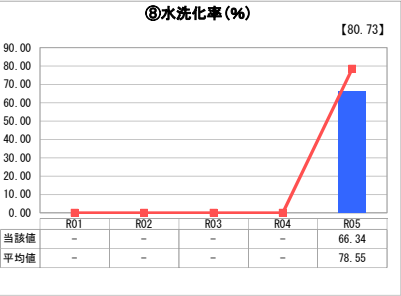
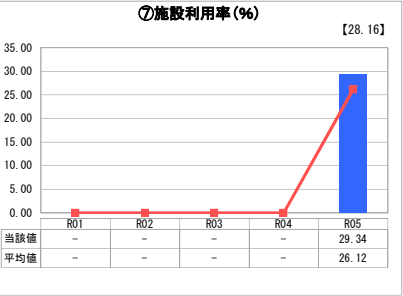
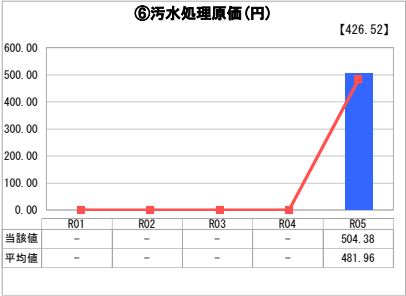
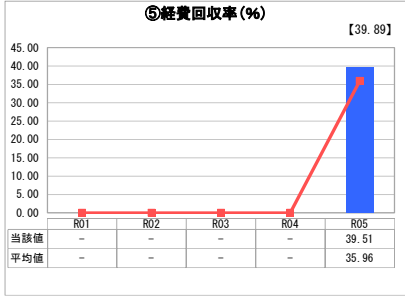
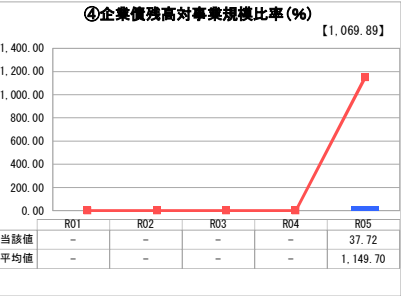
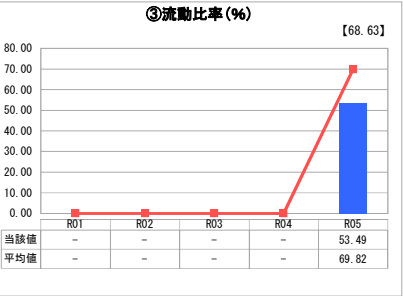
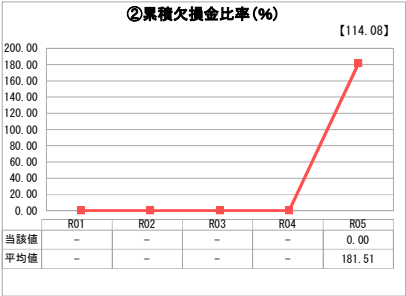
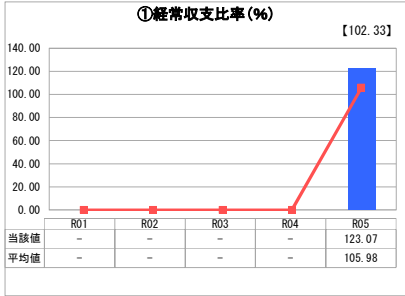
和歌山県 和歌山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	67.56	0.78	100.00	4,158

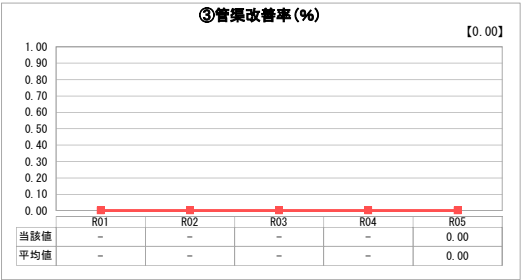
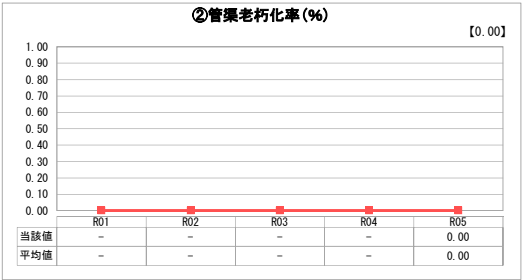
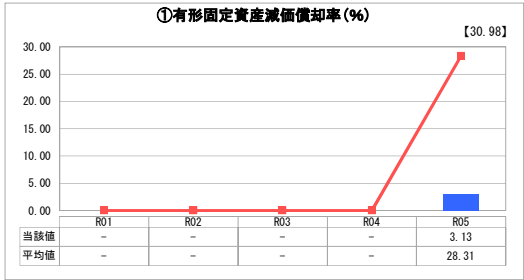
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
356,472	208.85	1,706.83
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,772	0.40	6,930.00

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は黒字となっている。
- ②累積欠損金比率は0.00%となっている。
- ③流動比率は平均値を下回っており、低い水準にある。支払能力の向上のため、経営の効率化を進めていく必要がある。
- ④企業債残高対事業規模比率は企業債の多くを一般会計で負担しているため低い値となっている。
- ⑤経費回収率は低く、⑥汚水処理原価は平均値と比べて高い値となっている。
- ⑦施設利用率は平均値を上回っている。
- ⑧水洗化率は平均値を下回っているが、管渠整備は終了しており、接続戸数の大幅な増加を見込むことはできない。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は、地方公営企業法適用を行った令和5年度からの減価償却率となっているため、非常に小さい値となっている。
- ②管渠老朽化率及び③管渠改善率について、管渠は、比較的新しい箇所が多いことから、現在のところ更新の必要はないが、今後の老朽化に伴い、改修費用の増加が見込まれる。

全体総括

平成14年1月供用開始のため、比較的新しい管渠が多いが、沿岸部に排水処理場があるため、排水処理場の機械・電気設備は老朽化が進んでおり、今後の計画的な更新工事が必要となっている。管理運営については、多額の一般会計繰出金により運営を行っている状況にあるため、今後も経営の効率化を進め、適正な管理・運営に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。